

令和3年度 月のひかり保護者アンケート結果と回答

●現在、地域のサービス資源について、こんなサービスがあればいいと思っている事がありますか。

(ご意見)

- ・ショートステイを利用できる事業所を増やしてほしい。(複数回答あり)
- ・行動援護を提供する事業所が少なすぎる。
- ・生活介護事業所が終了後過ごせる場やサービスがほしい。
- ・土曜日利用できる事業所が増えてほしい。
- ・休日等に過ごせる場所があるといい。
- ・通学に対しての送迎サービス。共稼ぎ世帯で現在出勤時間の調整をしているが、将来的には不安。是非サービスがほしい。(複数回答あり)
- ・学校の運動系の部活動は難しいので、部活動の代わりにスポーツなど体力づくりを提供してくれるサービス。
- ・大人の日中活動は15時～16時で終わってしまうので、延長して利用できるサービスがほしい。(複数回答あり)
- ・障害に対しての理解が進むような仕組み。
- ・学校長期休業の際、施設開所時間まで子どもを預けてその後施設に送り届けるサービス。
- ・フリー乗降福祉バス。
- ・好きなことや得意なことを行える事業所。
- ・生活介護やグループホームの増設。
- ・学校を卒業しても学習できる支援がほしい。生活介護などでの学習カリキュラム。

(回答)

- ・ショートステイ(短期入所事業)、特に児童を対象にした事業所は少ないです。山形市だけではなく村山圏域全体の問題です。コロナ過で営業を停止している施設も多いので、より少なく感じますね。今、法人としては、県要望、市要望、知的障害者福祉協会(以下協会)活動等を通して、基盤整備推進のお願いを関係機関にお願いをしているところです。
- ・同じく居宅介護(ホームヘルプ、行動援護、移動支援等)の事業所も少ない状況です。山形市の行動援護に関しては、同法人心音(こころね)しかありません。背景は、人材不足と、報酬単価の課題があります。以前は介護系事業所も障がい者の提供もしていましたが、前記の理由で撤退しました。法人としては利用者からは一番喜ばれるサービスなので何とか守っていきたいと考えています。ここも国や県に協会を通じて持続可能な制度になるようお願いをしているところです。
- ・生活介護等、大人になってからの事業所の延長利用に関しては、毎年上がってくる地域課題となっています。対応する、しないは事業所の考えになりますが、できれば制度等と組

わせて事業所が対応しやすくする事も必要だと考えています。

- ・学校送迎に関しても、毎年学校関係団体から県等に要望が出されている課題です。県外になりますが、学校がバス会社に委託し広域に送迎を行っています。継続して要望していく必要があります。
- ・山形市には「山形市障がい理由とする差別の解消の推進に関する条例」があるのはご存じでしょうか。県にも同じ条例があります。その条例には「私たち一人ひとりが、障がいや障がいのある人への理解を深め、共に支え合いながら、いきいきと安心して暮らすしていくことのできる山形市をめざす。」とあります。

障がいがあると言うだけで、差別や偏見に遭う事は少なくありません。大事なのはその時に、私たちがどう対応していくのかだと考えます。黙って我慢することはないはずです。私たちもこの条例が更に浸透するように地域に働きかけていきます。是非、ご意見等ありましたらお聞かせください。

●お子さんの将来像を、現時点でどのようにお考えですか。(就労系 生活介護など)

そのために、今後何をしようと考えていますか。

(ご意見)

- ・就労 A,B 生活介護にこだわらず、本人が毎日楽しく自分らしく生活していける場を見つけていきたい。
- ・色々な事業所を見学していきたい。
- ・今は、好きな事を沢山見つけて趣味を広げていきたい。
- ・高等部2年生から情報収集に動き出したが、もっと早く動き出せばよかった。
- ・自立して働けるようになってほしい。
- ・就労系は難しいので生活介護を考えている。
- ・毎日安心して通える生活介護。卒業後もリズムを崩したくない。
- ・将来の大まかな進路を決め、高校を受験しその先にやってみたい事を見つけ、進学や就職をしてほしい。
- ・普通に仕事ができる人に優しく接する事ができる人になってほしい。
- ・就労系を考えている。仕事はこういうものだという事を覚えてほしい。
- ・生活介護。自分の意思を伝えられるようにしたい。
- ・小学部なので、まだ思い浮かばない。まずは、集団活動に慣れるように支援したい。
- ・一般就労、色々な人と関わる機会を増やしてあげたい。(複数回答あり)
- ・生活介護、グループホームも利用したい。(複数回答あり)
- ・就労を目指したい。そのためにコミュニケーションのとりかたなどを学んでほしい。そのために職種を探したり見学などをしてみたい。(複数回答あり)
- ・福祉的就労。そのために社会性を身に着ける勉強をしていく。
- ・本人の希望と親の希望が違う。現在思案中。
- ・生活介護。今はできるだけ身の自立ができるよう支援したい。

- ・自立を目指し、1日のスケジュールを決め自分で動けるような生活を送らせたい。

(回答)

- ・進路は、みなさん共通の課題です。できれば高等部になってから考え始めるではなく、早い段階で福祉サービスの状況や、実習先の候補などを調べてみると良いかもしれません。月のひかりとしても、勉強会を通じてできるだけ多くの情報を提供していきたいと思います。また、法人グループの事業所（生活介護、グループホーム）などを見学する機会も作っていきます。
- ・ご本人の意思を尊重する事は、サービスを提供するうえで一番大切にしている点です。児童期は意思を形成する時期にもなっています。言い換えると、色々な経験や体験を通して、自身の意思を形づくる大切な時期だと思います。学校や家庭や報デイはできるだけ多くの機会や選択肢を準備していく必要がありますね。進路の選択はその本人の意思を中心に考えていく事が大切です。そして、その意志は必ずしも親御さんの考えと重なるとは限りません。その時はお子さんが自分らしく楽しく活動できる場所かという事を大切にしてください。
- ・今は学校の友達や先生放課後デイ職員や友達など関わる人が大勢いますね。卒業後は、ほぼ一か所の事業所の限られた関係者と家族との関係が主になっていきます。小さい関係性が悪いのではなく、お子さんが楽しく生き生きと生活できるかが大切だという事です。少ない関係性は一度つまずくと解決が難しいですね。卒業後もできるだけ多くの関係性をつくることも大切な準備だと思います。福祉の相談や事業所、当事者団体などを活用していく事も考えてください。

●職員の支援について、感じている事があれば具体的にお聞かせください。

(ご意見)

- ・年度当初、職員の顔写真と名前の紹介があればありがたい。
- ・活動内容を、本人の様子を含め詳しく知りたい。連絡帳の内容では伝わらない。
- ・一人のスタッフに伝えても全員のスタッフに伝わらない事があり、何度も同じ事を言わなければならない。
- ・家庭では体験できない様々な支援をして頂ける。親の不安や悩みを聞いてもらえてよかった。

(回答)

- ・職員写真入りの紹介をさせていただきます。
- ・連絡帳への記載は短時間に利用のお子さん全員に記載しているので本当に簡易な内容にさせていただきます。できるだけ、送迎等の際にできるだけ様子をお伝えするようにしていますが不十分だと感じています。できるだけ詳しくお伝えできるようにします。また、いつでも不明な点があればご連絡いただければ幸いです。
- ・職員間の情報共有も徹底していきたいと思います。申し訳ありませんでした。

●今後、月のひかりの勉強会等で取り上げてほしいテーマや内容があればお聞かせください。

(ご意見)

- ・卒業して1～2年目のお子さんのいる親目線の先輩ママの話をお聞きしたい。
- ・入所施設の充実化。
- ・親なき後は、どのような生活になるのか知りたい。(複数回答あり)
- ・親なき後、子どもにどのくらいお金も残せばいいか知りたい。
- ・思春期の接し方。二次性徴期の関り方など。性について。(複数回答あり)
- ・親がすべきことを専門職の立場からお聞きしたい。
- ・高等部卒業後の生活について。(複数回答あり)
- ・外出先や旅行先をどうやって本人と決めているのかなど。良かった方法や失敗談など。
- ・障害基礎年金について。その他の手続きなど。(複数回答あり)
- ・障がい児の兄弟姉妹について。
- ・親の介護と、障害児の支援の両立について。
- ・進学や就労について。卒業後の選択肢を教えてください。
- ・施設見学を希望したい。

(回答)

- ・コロナ過で延期していますが、ミニ勉強会を予定しています。前回の希望があり、先輩のお母さんの話を聞く機会を作る予定です。
- ・関心の高いテーマから勉強会を行っていきます。年金、成年後見制度、兄弟姉妹の会等を予定したいと思います。引き続きご意見をお聞かせください。

※全てのご意見に対しての回答ではありません。申し訳ございません。回答などへのご意見ご質問はいつでもお受けします。気軽にご相談ください。